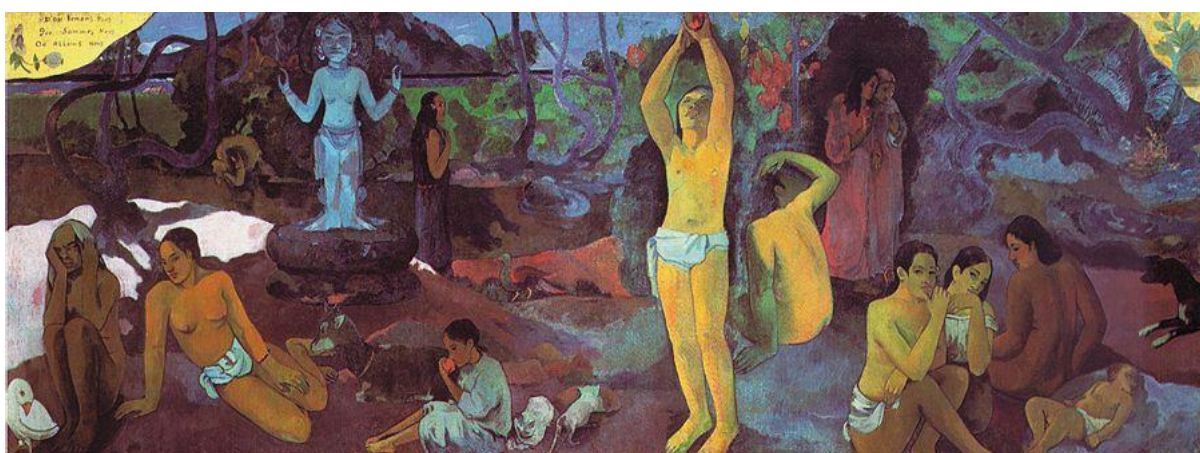


宗教学研究室紀要

THE ANNUAL REPORT ON PHILOSOPHY OF RELIGION



2014 vol.11

京都大学 文学研究科 宗教学専修 編

オンライン刊行物 http://www.bun.kyoto-u.ac.jp/religion/rel-top_page/

詩作と思索を差異化するもの——デリダのハイデガー読解より	長坂真澄 (3)
田辺元「宗教哲学の課題と前提」におけるヤスパーズ理解を巡って	藤田俊輔 (22)
キェルケゴールの『不安の概念』における実存論的学の問題	大坪哲也 (41)
ウィリアム・ジェイムズにおける絶対主義批判と有限な神	山根秀介 (62)
「自由」の哲学者たち：レヴィナスとサルトル	松葉類 (82)
持続と永遠 ——ベルクソンとアンリ——	吉野齊志 (99)
編集後記	(117)

——宗教学研究室紀要編集委員——

氣多雅子	京都大学大学院文学研究科	教授
杉村靖彦	京都大学大学院文学研究科	准教授
美濃部仁	明治大学	教授
脇坂真弥	大谷大学	准教授

——第 11 号執筆者紹介——

長坂真澄	大阪大学 日本学術振興会特別研究員 PD トゥールーズ - ジャン・ジョレス大学 協力研究員
藤田俊輔	京都大学 非常勤講師
大坪哲也	京都大学大学院文学研究科 博士課程
山根秀介	京都大学大学院文学研究科 博士課程
松葉類	京都大学大学院文学研究科 博士課程
吉野齊志	京都大学大学院文学研究科 博士課程

**** 編集後記 ****

今年度の研究室紀要においては、計六本の公募論文を掲載することができ、誠に嬉しく思っております。多種多様な思想家や問題関心に対する論文が出され、研究室の若手の活発な活動をお伝えできたのではないかと考えております。様々な専門領域の研究者たちが互いに刺激を与えながら研鑽を積むことは、本研究室の良い伝統ではないでしょうか。

各論文の査読にご協力いただきました先生方には、厚くお礼申し上げます。また編集作業において誤字脱字や書式の不揃いに閉口している自分を助けてくれた先輩方や友人にも感謝いたします。この編集作業は、論文の形式について考える良い機会ともなりました。先生方のご指導や紀要編集の経験を、今後の論文執筆に活かしていく所存です。

(長岡徹郎・山根秀介記)

Articles

- Différance zwischen dem Dichten und dem Denken – aus der Derridaschen Lektüre
Heideggers
Masumi Nagasaka 3
- Über Tanabe Hajimes Verständnis von Karl Jaspers in seinem Vortrag ›Die Aufgabe und
Voraussetzung der Religionsphilosophie‹
Shunsuke FUJITA 22
- Problemer af den Eksistenciele Videnskab i Kierkegaard's Begrebet Angest
Tetsuya OTSUBO 41
- William James' Criticism against the Absolutism and the Finite God
Syusuke YAMANE 62
- Deux penseurs de la « liberté » : Levinas et Sartre
Rui MATSUBA 82
- La durée et l'éternité. Bergson et Henry
Tadashi YOSHINO 99